

●川ってなあに? その

とよばれるものなんだ。台をべり

恵がふまれた

をつくるという知

と、輪のような堤防

を、自然

堤防をつなぐこと

と、何本もの

川がアミの目

のよう

に流れてい

とくに何本もの

川がアミの目

のよう

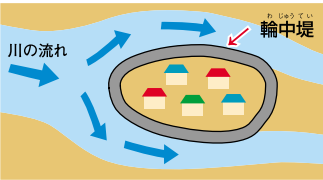
に流れてい

とくに何本もの

川がアミの目

のよう

に流れてい



ただ、輪は利根川で3、長さは木曽川で22のものもあるんだ。

このような自然堤防を利用して、むかしの人たちは、それをなぞあわせたり、さだに土を盛ったりして、人の堤防をつつていたと考えられている。それは、たいざつな田んぼや畑、住む家などを洪水から守るためだ。ただし、その堤防をつくる技術は、人から人へ伝えられ、広まっていたらしい。

この自然堤防、高さはだいたい5、くらいまでだけ、輪は利根川で3、長さは木曽川で22のものもあるんだ。

このような自然堤防を利用して、むかしの人たちは、それをなぞあわせたり、さだに土を盛ったりして、人の堤防をつつていたと考えられている。それは、たいざつな田んぼや畑、住む家などを洪水から守るためだ。ただし、その堤防をつくる技術は、人から人へ伝えられ、広まっていたらしい。

「堤防とは、カンタにいうと、洪水のときに川の水をふれさせないよう、川に沿ってつくられたもの。では、この堤防、だれがいはんはじめにつくったんだろ?」

答えは、自然。そう、自然にできた堤防が最初のものなんだ。



「川ってなあに?」その

「堤防」について、学ぼう。

と堤防でかむことで、洪水から川を守ろうとしたんだ。

ところで、堤防について「堤外」と「堤内」という言い方がある。つまり、堤防をさかいにして、堤防の外と中にわけられる、というわけだ。

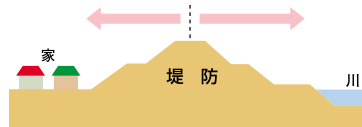
では、ここでモンダイー

堤防から見ると、川のあるほうと、そうでないほうへ人が住むところと、どちらが「堤外」あるいは「堤内」なんだろ?」

答えは、川のはうが「堤外」、人が住むほうを「堤内」というんだ。ちうと意外な感じがするけど、輪中堤をもとに考えると、わかりやすい。堤内というの

は、堤防によって守られている側という意味なんだ。

どっちが堤内? 堤外?



「不連続堤」から「連続堤」へ

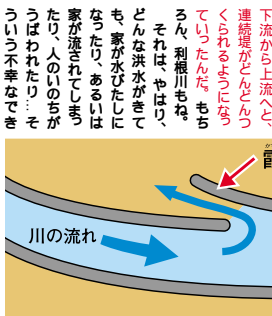
ほかにも、堤防の種類は、たくさんある。輪中堤は、そのほんの一部なんだ。ただ、むかしの堤防に共通しているのは、ほとんどが「不連続堤」であるということ。つまり、川の流れて沿って連続的につくられる堤防ではなく、連続堤ではない、というわけだ。輪中堤も同じ。くるりつながついているけど、川の流れて沿って連続しているわけではない。

この不連続堤のちも代表的なのが、露堤だ。前号でもしうかいしたけど、堤防にならず、さきまづくって、洪水のときはそこから水を流れた。堤防がこれないうようにしたものだ。

このような不連続堤は、必要以上に自然の力にさがちない、という長所もあるけど、洪水のた

びに、堤内に水がはいってくるんだ、不便なところ。そこで、とくに明治時代のころから、下流から上流へ、連続堤がどんどんつくられるようになった。

それは、やはり、どんな洪水がきて、も家が水びたしになったり、あるいは家が流されてしまったり、人のいのちがうばわれたり、そのうう不幸なできごとをなくしたいという気持ちからなんだ。



スーパー堤防とフロンティア堤防

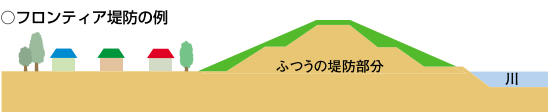
こうして、洪水をふさいでいる堤防だけでなく、もしも大きな洪水でこわれたらしたら、タイヘン! 堤内とくにたくさんの人たちがすんでいるようなところは、とても大きな災害になってしまう。

そこで、大洪水でもこわれない堤防「スーパー堤防」が考えだされた。これは、堤防の高さのおよそ30倍という、ひろい幅をもつ堤防のこと。このくわい幅がある、もしも水があふれても堤防がこわれずなごとはない。しかも、ひろい堤内にすむくわい幅がある、という長所もあるんだ。

○スーパー堤防の例



○フロンティア堤防の例



スーパー堤防、利根川や荒川の downstream、東京都や千葉県などにつくられているんだ。ただし、スーパー堤防をつくるには、ひろい土地がなければならぬ。建物を移したりしなければならぬ。そこで、数年前から、ふつうの堤防よりもずこし傾斜をゆるくしたりすること、洪水に対する動きをもたせたフロンティア堤防というのをつくられるようにつまづいているんだ。

